



書棚から歌を 2021 – 2025

著者 田中 綾

新書 256 ページ
発行日 2025 年 12 月 1 日
ISBN 978-4-910236-13-1 C0295
定価 1,100 円（本体 1,000 円 + 税）

【内容紹介】

時代もジャンルも縦横無尽

短歌を引用した読書案内。北海道新聞連載の人気コラム最新刊。

北海道新聞「日曜文芸」欄で 2009 年 11 月 5 日から連載が始まり、現在も続いている人気コラム「書棚から歌を」。前著『書棚から歌を 2015-2020』（北海学園大学出版会、2021 年）に続き、本書は 2021 年 1 月 3 日から 2025 年 4 月 13 日掲載分までを収めている。

短歌が引用された本を見開き 2 ページで 1 冊ずつ紹介しており、百人一首から AI 短歌、回文連歌、芸人歌人、元アイドルの作品まで幅広いラインナップのブックガイドとなっている。

「日中戦争前後の文学を研究してきた私にとって、短歌とは、近代天皇制や歌人たちの戦争責任を考えさせる詩型であり続けています」と語る筆者。優しく穏やかでやわらかな筆致ながら、戦争と短歌や歌人をテーマにした骨太の作品を多数取り上げている。

同時に、学生たちと日々接している大学教授として、短歌に親しんでもらうための間口を広げたいとの思いから、万葉集や百人一首をはじめとするオーソドックスな短歌はもちろんのこと、取り上げる作品のジャンルも歌謡、歌集から小説、エッセイ、評論や伝記と多彩だ。

【著者紹介】

田中 綾 (たなか あや)

1970 年、札幌市生まれ。北海学園大学人文学部教授。歌人。

2017 年より、三浦綾子記念文学館館長。2023 年より、北海学園大学短歌会誌「華と硝烟」編集人。

●著書

『あたたかき日光 三浦綾子・光世物語』（北海道新聞社、2023 年）

『書棚から歌を 2015-2020』（北海学園大学出版会、2021 年）

『非国民文学論』（青弓社、2020 年）

『書棚から歌を』（深夜叢書社、2015 年）

『権力と抒情詩』（ながらみ書房、2001 年）